

(参考)

産地パワーアップ事業  
都道府県事業評価参考様式

都道府県名 宮崎県

○ 産地パワーアップ計画

(1) 生産コスト又は集出荷・加工コストの10%以上の削減

Table with columns for project details, current status, target, actual results, and evaluation. Includes data for '産地パワーアップ計画' with a 109.7% achievement rate.

(2) 販売額又は所得額の10%以上の増加

Table with columns for project details, current status, target, actual results, and evaluation. Includes data for three projects with achievement rates of 122.6%, 43.3%, and -40.8%.

尾鈴地域農業再生協議会	57	川南町	茶	【取組内容】 有機茶の産地力強化 ①生産力の向上 ②販売力の強化 ③人材の育成	販売額の10.0%以上の増加	28	395千円/10a	18.04 ha	52.15 t	1,366	円/kg	R1	435千円/10a	18.04 ha	55 t	1,428	円/kg	R1	351千円/10a	18.04 ha	39.8 t	1,590	円/kg	810	円/kg	683	円/kg	1,186	416千円/10a	52.5%	H31年度の有機茶販売実績により検証【現状値】 ①395千円/10a H28年度販売額 71,255千円 H28年度総面積 18.04ha H28年度10a当たり販売額 395千円/10a ※現状値は、H28年度の有機茶の販売実績 【目標値】 ②435千円/10a H31年度販売額 78,552千円 H31年度総面積 18.04ha H31年度10a当たり販売額 435千円/10a 【実績値】 ③351千円/10a H31年度販売額 63,282千円 H31年度総面積 18.04ha H31年度10a当たり販売額 351千円/10a 補正後の10a当たり販売額 416千円/10a 【達成率】 (416千円-395千円)/(435千円-395千円) ②/①→10.1%の増加	①産地の現状・課題 近年の売価の低迷により茶業経営を圧迫している。 ②事業の組織による成果 本事業で採用型機械を導入することにより、摘採選別の作業が可能となったものの、4月に発生した低温により収量の減少が生じ、品質の低下から、目標を達成することができなかった。 ③要因 4月に発生した低温により収量の減少および品質の低下をもたらした。 ④指導内容 防霜ファンを設置する等需対策を講ずるよう指導。	本事業による機械導入により、摘採選別の作業が可能となったものの、4月に発生した低温により収量の減少が生じ、品質の低下から、目標を達成することができなかった。今後は、防霜ファンを設置する等需対策の指導を行い、関係機関一休となり成果目標の達成に取り組む。		
延岡市農業再生協議会	59	延岡市	たまねぎ	栽培面積の維持・拡大、収量・品質の向上、生産者の負担軽減を図るための、定植から収穫に係る機材等の導入	販売額10%以上の増加	28	312,698円/10a	24.9 ha	697.9 t	111	円/kg	R1	344,000円/10a	26 ha	784.5 t	114	円/kg	元	247,276円/10a	25 ha	577.7 t	107	円/kg	115	円/kg	81	円/kg	1,420	351,132円/10a	122.8%	JA系統販売額のH28実績との比較 ①H28年度実績 10a当たり販売額 312,698円/10a 販売額77,862千円 面積 24.9ha ②H31年度目標値 10a当たり販売額 344,000円/10a 販売額89,440千円 面積 26ha ③H31年度実績 10a当たり販売額 247,276円/10a 販売額61,819千円 面積 25ha ④H31年度10a当たり販売額 247,276円/10a 販売額61,819千円 面積 25ha ⑤H31年度10a当たり販売額 351,132円/10a 販売額90,280千円 面積 26ha ⑥達成率②/①→10%の増加	①産地の現状・課題 生産者の高齢化により労働力が低下傾向にあるため、労働力を補うために、機械の有効利用が必要である。 ②本事業の取組や産地独自の取組による効果や成果目標の達成状況 4年間の取組により、元年度に比べて販売額が増加した。収穫時期が早くなった。 ③要因 天候が安定し、生育が順調であったこと、出荷時期が遅れたため、販売額・品質と向上し、販売額が増えたこと。 ④達成状況が低調な場合における具体的な指導内容等 元年度は販売額の伸びを受け、販売額が増えたが、収穫時期が遅れたため、販売額が伸びなかった。今後は、関係機関と連携し、技術支援を行うことで安定した収量の確保を図り、目標の達成を目指す。	本事業による機械導入により、計画的な生産出荷が可能となったものの、元年度は販売額の影響を受け、肥大開始が遅れ、出荷時期が遅れたため、販売額が増えなかった。今後は、関係機関と連携し、技術支援を行うことで安定した収量の確保を図り、目標の達成を目指す。	価格修正：宮崎市中央卸売市場準備実績より	
延岡市農業再生協議会	60	延岡市	茶	販売額増加に向けた産地体制の強化 ①生産力向上 ②販売力強化 ③人材の育成	販売額10%以上の増加	28	134,039円/10a	13 ha	1番茶 9,867 kg 2番茶 1,766 kg	1番茶 10016 2番茶 4147 3番茶 1204	1番茶 1766 2番茶 620 3番茶 400	円/kg	R1	148,150円/10a	14 ha	1番茶 6,490 kg 2番茶 1,918 kg	1番茶 10016 2番茶 4147 3番茶 1204	円/kg	R1	120,841円/10a	10.3 ha	1番茶 6,490 kg 2番茶 1,918 kg	1番茶 10016 2番茶 4147 3番茶 1204	円/kg	810	円/kg	683	円/kg	1,186	143,310円/10a	65.7%	北浦茶部会の販売額のH28実績とH31実績の比較 ①H28年度実績 反収：134,039円/10a 販売額：17,425,122円 面積：13ha ②H31年度目標値 反収：148,150円/10a 販売額：20,740,996円 面積：14ha ③H31年度実績 反収：120,841円/10a 販売額：12,446,592円 面積：10.3ha ※反収②/①→10%の増加	①産地の現状・課題 販売額低下を要因とした産地による生産者の減少 ②本事業の取組や産地独自の取組による効果や成果目標の達成状況 本事業の取組により、生産者の高齢化による労働力の不足が解消され、生産者の高齢化が解消されたことにより、目標を達成できなかった。 ③要因 天候が安定し、生育が順調であったこと、出荷時期が遅れたため、販売額・品質と向上し、販売額が増えたこと。 ④達成状況が低調な場合における具体的な指導内容等 元年度は販売額の伸びを受け、販売額が増えたが、収穫時期が遅れたため、販売額が伸びなかった。今後は、関係機関と連携し、技術支援を行うことで安定した収量の確保を図り、目標の達成を目指す。	本事業による機械導入により、生産性の向上は認められ、目標は達成できなかった。今後は、関係機関と連携し、技術支援を行うことで安定した収量の確保を図り、目標の達成を目指す。	
都城市農業再生協議会	64	都城市	キャベツ	露地野菜産地の形成の推進 ①きやべつにおける農業機械等の導入による計画生産の取組を推進することにより、販売額10%以上の増加を実現する。	販売額の10%以上の増加	28	140千円/10a	10 ha	330 t	43	円/kg	R1	154千円/10a	12 ha	358 t	43	円/kg	元	159千円/10a	13 ha	591 t	35	円/kg	99	円/kg	69	円/kg	1,435	229千円/10a	635.7%	H28販売実績とH31販売実績にて検証を行う。 【現状値】 ①：140千円/10a H28販売額 14,000千円 H28作付面積 10.0ha 【目標値】 ②：154千円/10a R1販売額 18,480千円 R1作付面積 12.0ha ※目標は取組主体の事業計画より ②/①→10.0%の増加 【実績値】 ③：159千円/10a R1販売額 20,704千円 R1作付面積 13.0ha ③/①→13.6%の増加	①産地の現状・課題・問題点 大雨や台風の連続襲来等収量減少を心配される要因もあったが、着先以降は天候に恵まれ最終的には計画収量と同等となった。全体的な問題点は高齢化による人手不足であり、機械化等それをどこまでカバーできるかである。 ②本事業の取組や産地独自の取組による効果や成果目標の達成状況 本事業による機械導入により、作業効率が向上し、人手不足の解消につながることができ、成果目標を達成することができた。	本事業の機械導入により、作業効率を改善することができ、目標を達成することができた。今後も引き続き、生産技術の向上と販売力強化について、市、JAを含む関係機関と連携して実施する。	価格修正根拠：宮崎中央卸売市場年報より	
宮崎中央地域農業再生協議会	66	国富町	せんざり大根	①販売力強化に向けた取組 ②生産力の向上に向けた取組 ③人材の育成に向けた取組	総販売額の10%増加	28	93,562千円	17.8 ha	104 t	904	円/kg	元	103,337千円	19.7 ha	114 t	904	円/kg	R1	58,073千円	18.7 ha	71 t	817	円/kg	1,695.90	円/kg	1,689.40	円/kg	1,004	58,530千円	-358.4%	R1年度の個別申告書や販売実績データを基に検証。 ①現状値 (総販売額：93,562千円/17.80ha) ※販売額、面積はH27実績より。 ・目標値 (総販売額：103,337千円/19.70ha) ※販売額、面積は生産者意向調査により算出 ・目標/現状 =103,337千円/93,562千円 →10.9%の増加 ・実績値 (総販売額：58,073千円/18.70ha) ・実績/現状 =58,073千円/93,562千円 →37.9%の減少	①産地の現状・課題・問題点 高齢化による産地の縮小が懸念されている。 ②本事業の取組や産地独自の取組による効果や成果目標の達成状況 面積は増加したが、収量が大きく減少し目標を達成しなかった。 ③要因 天候が安定し、生育が順調であったこと、出荷時期が遅れたため、販売額・品質と向上し、販売額が増えたこと。 ④達成状況が低調な場合における具体的な指導内容等 定期的な産地主体の栽培講習会を開催し、技術向上を図るとともに、優良農地確保を図り収量向上を図る。	冷凍施設等の整備により品質管理を適正に行う体制を構築したものの、令和元年度は、乾燥時期に長期的に続いた曇天により、十分に乾燥させる期間が確保出来なかった。今後は、定期的な産地主体の栽培講習会を開催し、技術向上を図るとともに、優良農地確保を図り収量向上を図る。	価格修正根拠：経済連	
綾町農業再生協議会	67	綾町	ごぼう	①販売力強化に向けた取組 ②生産力の向上に向けた取組 ③人材の育成に向けた取組	総販売額の10%以上の増加	28	6,019千円	2.5 ha	32.6 t	193	円/kg	R1	6,739千円	2.75 ha	34.8 t	193	円/kg	R1	4,744千円	3.6 ha	27 t	176	円/kg	245	円/kg	143	円/kg	1,713	8,126千円	292.6%	H31年度のJA綾町の販売実績データを基に検証。 ・現状値 (H28年度販売額：6,019千円/2.5ha) ※販売額、面積はJA綾町実績より ・目標値 (H31年度販売額：6,739千円/2.75ha) ※販売額、面積は生産者意向による ・目標/現状=6,739千円/6,019千円 →11.0%の増加 ・実績値 (R1年度販売額：5,141千円/3.7ha) ※販売額、面積はJA綾町実績 ・実績/目標=5,141千円/6,739千円 →76.3%の増加	産地づくりに向けた作付けの増加が図られ面積の拡大につながった。 また、収穫機の導入による作業効率の向上が図られ、計画的かつ安定的な出荷が可能となったことなど高単価での販売をすることができた。 今後はさらなる品質の向上に向け販売額の向上を目指す。	ごぼうを中心とした輪作体系の確立が形成されたことにより、安定的な作付けの実現が図られた。今後も引き続き、生産技術の向上について、市、JAを含む関係機関と連携して実施する。	価格修正根拠：宮崎中央卸売市場年報より	

西都市農業再生協議会	69	西都市 川南町 高鍋町 国富町 小林市 えびの市	ほうれんそう さといも	露地野菜の高機能収穫機・管理機等の導入による栽培面積拡大及び契約栽培面積の拡大、加工用野菜の生産出荷体系の確立。 ①機械導入からの作業効率化により栽培面積を拡大することで、生産力の向上を図り、あわせて担い手の減少・高齢化による労働力の減少を機械化による効率化・省力化 ②契約生産者の種類・収穫等の労力の大きい作業について作業委託することで、生産者はより栽培管理に注力が可能となり、高品質化・収量拡大することで、安定した農業経営モデルを確立 ③栽培管理を徹底することで、反収や品質の向上を図り販売額の向上	総販売額の10%以上の向上	28	134,318千円	106.4 ha	2,787 t	48.2	円/kg	R1	171,489千円	117 ha	3,301 t	52	円/kg	R1	146,532千円	121.2 ha	2,836 t	52	円/kg	-	-	-	-	<p>【現状値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>販売額 ほうれんそう 117,249千円 さといも 17,069千円 合計 134,318千円 …①</li> <li>栽培面積 ほうれんそう 94.3ha さといも 12.1ha 合計 106.4ha</li> </ul> <p>【目標値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>販売額 ほうれんそう 129,069千円 さといも 42,420千円 合計 171,489千円 …②</li> <li>栽培面積 ほうれんそう 96.0ha さといも 21.0ha 合計 117.0ha</li> </ul> <p>②/① = 27.7%の向上 ※販売額はジェイエイフーズみやざきへの出荷実績</p>	32.90%	<p>昨年台風の影響により大幅な減収となったが、関係機関と協力し、被害を軽減し、今後の栽培管理に努め、収量・品質の向上を図れば目標達成は可能である</p>	<p>機械導入により生産拡大に取り組んだものの、台風の影響により大幅に減収となり、目標を達成することができなかった。 今後、関係機関と連携し、病害虫予防などの徹底管理に努め、収量・品質の向上を図り、目標達成を目指す。</p>	※契約取引のため価格補正は行わない
------------	----	---	----------------	--	---------------	----	-----------	----------	---------	------	------	----	-----------	--------	---------	----	------	----	-----------	----------	---------	----	------	---	---	---	---	---	--------	---	--	-------------------

都道府県平均達成率	63%	総合所見	<p>評価対象産地計画全11件のうち、目標を達成した計画は5地区となっている。 未達成の主な要因は、台風や霜等の自然環境の変化による生育不良や販売単価の低迷によるものが多い。 台風等の自然災害については、気象の状況を的確に把握し、事前対策について情報提供及び技術指導を行うとともに、事後においては、樹勢回復に向け早急な現地調査、技術指導を関係機関と連携して行う。 加えて、販売単価については、関係機関と連携し、現状把握・分析に努め、販売単価の向上を図るための品質向上等の技術指導及び販売対策の構築を図ることにより、改善に取り組んでいく。 これらの支援を継続的に実施し、未達成となった6地区について成果目標の達成を目指す。</p>
-----------	-----	------	--